

「だより」 100号を迎えて



本誌は、青森県水産増殖「センターだより」として、昭和54年5月に創刊されました。伊藤進所長の「・・・魂の入った試験研究を進めてゆきたい」との巻頭の辞で始まり、以来、25年、本号によって通巻100号に到達いたしました。

本年度はまた、陸奥湾におけるホタテガイ養殖の歴史に、大量斃死に見舞われた年として記録される年となりました。陸奥湾の平成15年度ホタテガイ生産量・金額は、前年比8割程度に止まりましたが、東湾海域では、養殖や地まきのホタテガイが4割ほども斃死する惨状を呈しました。斃死に至った直接的原因については、「だより」98号で速報し、大量斃死に至るメカニズムについて、現在、実証試験に取り組んでいるところです。

28年前に起きた昭和50年のホタテガイ大量斃死時を顧み、今一度、ホタテガイ養殖の基本に立ち戻るべく、元県水産部長、初代はたて貝部長の関野哲雄氏に寄稿していただきました。同氏には、この紙面を借りて深く感謝申し上げます。今後も創刊の辞に恥じない研究に邁進していく所存であります。